

平成 28 年度

事業計画並びに収入支出予算

社会福祉法人 大阪社会医療センター

## 平成 28 年度 事業計画

大阪社会医療センターは疾病や労働災害などにより治療が必要でありながら、社会保険未加入のため、あるいはその他社会的、経済的理由などにより、必要な医療を受けることが困難な、あいりん地域並びにその周辺地域の住民の方々に対して医療面から支援する無料低額診療施設として昭和 45 年に開設され、45 年が経過している。

設立当初に比べ地域の状況は大きく変化し、地域住民についても高齢化が進み、生活保護受給世帯が増加し、日雇労働に従事する労働者は減少しているが、経済的理由等からシェルター（臨時夜間緊急避難所）で宿泊したり野宿する人々が、今もなお多く存在している。

当院を受診する患者の疾患は、高齢化やこれまでの過酷な肉体労働、食事の偏りなどによる生活習慣病や、骨・関節の老化に関係がある疾患が多く、さらには劣悪な生活環境からのストレスや過度のアルコール摂取、薬物依存等の精神疾患が多いのが特徴である。

内科は、生活習慣病の中でも高血圧症や糖尿病などの患者が多く、投薬治療と栄養指導を行い生活習慣病の治療に努めている。外科は、消化器癌の患者に対する手術や化学療法が必要な患者が多くなっている。整形外科は、脊椎・関節の変性疾患の患者が多く、関節やリウマチの専門治療も行っている。

また、あいりん地域は、結核罹患率が高く、大阪市は第 2 次大阪市結核対策基本指針において平成 23 年度からの 10 年間で大阪市の結核罹患率をさらに半減させる取り組みを進めており、あいりん地域の結核罹患率を減少させることが目標達成に繋がることになることから、地域における結核対策の取り組みを強化している。

当センターとしても、結核に対する取り組みを進めており、基本方針である地域住民の保健と福祉の増進を図り、明るい町づくりに寄与するため、呼吸器専門医を配置し、結核の早期診断に資するため、院内で実施する結核菌の遺伝子検査の導入・拡充を図り、西成特区結核健康診断事業に参加して、結核の早期発見・早期治療を実践している。

平成 27 年度には、「未治療陳旧性結核に対する潜在性結核感染症治療に関する研究」（大阪市保健所との共同）の実施に加え、「あいりん地域の医療施設・ケア施設および結核医療施設の職員における Q F T 検査を用いた潜在性結核感染症の効果的な診断およびその効果的な治療指針の確立に関する研究」（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター、大阪市立大学等との共同）を実施しているところである。

平成 27 年 1 月 26 日に大阪市長に提出された「あいりん地域のまちづくり検討会議

の報告書」の中で、当センターについては、地域内への建替えという方向性が出され、平成 27 年度には、大阪市が中心となって開催している医療施設検討部会等の会議において、移転先・規模等についての具体的な議論を行っており、今後も引き続き当センターとして主体的に議論に参加する。

また、持続可能な事業運営のため、収益の確保および費用の縮減に、今後も努めるものとする。

収益の確保について、入院収益が平成 27 年度は患者数の増・手術件数の増により前年度に比べ増加する見込みであるが、平成 28 年度も引き続き入院患者確保と平均診療単価の増額に努める。また、外来収益については、平成 27 年度は患者数がほぼ横ばいであるものの、高薬価なC型肝炎新薬の採用による診療単価増により、前年度に比べ増加する見込みであるが、慢性疾患を抱える患者への適切なフォローを今後も続け、平均診療単価の維持に努める。平成 28 年 4 月の診療報酬改定に伴う新たな加算算定のための条件整備については、費用対効果を検証しながら取得に努めるものとする。

費用の縮減については、業務の効率化をより一層進め、経営の効率化を図るとともに、公共料金の見直し等の影響を最小限度に抑えられるよう節減に努めるものとする。

当施設の設置目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 第二種社会福祉事業無料低額診療施設である付属病院事業を行う。
  - (1) 診療科目は次のとおりとする。  
内科・外科・整形外科・精神科・皮膚科・泌尿器科
  - (2) 入院患者並びに外来患者の見込数は、おおむね次のとおりである。
    - ① 入院患者  
延 16,500 人
    - ② 外来患者（夜間診療及び休日診療を含む）  
延 62,000 人
  - (3) 低所得者、住所不定者等の生計困難者を対象とする診療費の減免を行う。
  - (4) 夜間診療及び休日急病診療を行う。
- 2 医療・福祉に関する相談及び支援を行う。
- 3 社会医学的調査研究を行う。
- 4 西成特区結核健康診断業務に参画する。

平成28(2016)年度 委員会・会議等開催予定

項目		月											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
法人関係			○ 監事 監査  ○ 決算 理事会 評議員会										○ 予 算 理 事 会  評 議 員 会
委 員 会 ・ 会 議 等 開 催	経営・企画会議(3木)	21	19	16	21	18	15	20	17	15	19	16	16
	管理職・医局連絡会(4木)	28	26	23	28	25	22	27	24	22	26	23	23
	責任者連絡会(1・2木)	7・14	12	2・9	7・14	4	1・8	6・13	10	1・8	5・12	2・9	2・9
	医療安全管理委員会(4木)	28	26	23	28	25	22	27	24	22	26	23	23
	院内感染対策委員会(4木)	28	26	23	28	25	22	27	24	22	26	23	23
	医療ガス安全管理委員会					○				○			○
	臨床検査適正化委員会(4木)	28	26	23	28	25	22	27	24	22	26	23	23
	リスクマネジメント 部 会(2水)	13	11	8	13		14	12	9	14		8	8
	感染対策チーム(3水)	20	18	15	20		21	19	16	21		15	15
	薬事委員会(隔月)(4木)		26		28		22		24		26		23
	看護部会(3金)	15	20	17	15		16	21	18	16	20	17	17
	看護師長会(1金)	1	6	3	1		2	7	4	2	6	3	3
	看護主任会(2金)	8	13	10	8		9	14	11	9	13	10	10
	看護部リンクナース(1水)	6	4	1	6		7	5	2	7	4	1	1
	看護部リスク マネジメント部会(2火)	12	10	14	12		13	11	8	13	10	14	14
	看護部教育部会(1火)	5	3	7	5		6	4	1	6	3	7	7
	褥瘡対策委員会(4水)	27	25	22	27		28	26	23	28	25	22	22
	医事請求打ち合わせ会(4木)	28	26	23	28	25	22	27	24	22	26	23	23
	栄養管理委員会(隔月 3木)	21		16				20		15		16	
	志水会(4水)	27	25	22	27		28	26	23	28	25	22	22
	地区担当者連絡会(隔月2木)	14		9				13		8		9	
	健康相談教室(年4回)		○			○			○			○	
	健康相談教室打ち合わせ会(4火)	26		28	26		27	25		27	24		28
	社会医学研究会(随時)												
	倫理委員会(随時)												
	人権啓発推進委員会									○			○
医療用機種選定委員会(随時)													
衛生委員会			○					○				○	
患者サポートカンファレンス(毎火)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
職場内研修			医療安 全研修	人権 研修	医療安 全研修		院内感 染研修		医療安 全研修		院内感 染研修		

※数字は各種会議の開催日を示す。

## 資金収支予算書

(自)平成28年4月1日

(至)平成29年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		予算	備考
収入	医療事業収入	1,395,150	
	入院診療収入	492,750	@30,000円×45人×365日 (16,425人)
	外来診療収入	660,618	@10,700円×210人×294日 (61,740人)
	保健予防活動収入	2,053	結核健診@4,389円×20人×12月 その他1,000千円
	その他の医療事業収入	239,729	
	補助金事業収入	236,729	無料低額診療等事業補助金
	その他の医療事業収入	3,000	文書料 @250千円×12月
	受取利息配当金収入	55	
	その他の収入	1,200	
	雑収入	1,200	@100千円×12月
<b>事業活動収入計(1)</b>		<b>1,396,405</b>	
事業活動による収支	人件費支出	611,657	
	役員報酬支出	2,430	
	理事給	1,800	理事長給 @150千円×12月
	費用弁償	630	理事・評議員会 @10千円×21人×3回
	職員給料支出	331,431	
	医師給	90,507	10人
	看護師給	153,117	32人
	医療技術員給	47,885	10人
	事務員給	39,922	10人
	職員賞与支出	94,089	
	医師給	27,438	
	看護師給	44,240	
	医療技術員給	8,856	
	事務員給	13,555	
	非常勤職員給与支出	119,515	
	非常勤医師	88,745	外来診療 29,120千円 宿日直 24,294千円 諸検査 15,480千円 手術麻酔応援 15,531千円 研究医 4,320千円
	パート賃金	30,770	
	法定福利費支出	64,192	
	事業費支出	463,621	
	給食費支出	11,497	@700円×16,425人
	医薬品費支出	376,101	外来@5,400円×61,740人 十入院@2,600円×16,425人
	診療・療養等材料費支出	50,026	@640円×78,165人(外来61,740人十入院16,425人)
	保健衛生費支出	1,800	@150千円×12月
	日用品費支出	480	@40千円×12月
	水道光熱費支出	23,147	(電気代 16,573千円 ガス代 10,201千円 水道代 4,088千円) × 75%
	賃借料支出	180	@15千円×12月
車両費支出	390	車検・保険料 210千円 ガソリン代 外 @15千円×12月	

		勘定科目	予算	備考
事業活動による収支	支出	事務費支出	213,425	
		福利厚生費支出	1,940	健康診断費用1,440千円、労働災害総合保険料500千円
		職員被服費支出	6,800	白衣 400千円×12月 マスク等 2,000千円
		旅費交通費支出	1,650	医師学会出席 その他交通費
		研究研修費支出	1,400	研究費 700千円 研修費 700千円
		事務消耗品費支出	7,200	@600千円×12月
		印刷製本費支出	1,560	@130千円×12月
		水道光熱費支出	7,715	(電気代 16,573千円 ガス代 10,201千円 水道代 4,088千円) × 25%
		修繕費支出	8,299	
		建物修繕	5,899	@1,500円×3,932.55㎡
		備品修繕	2,400	@200千円×12月
		通信運搬費支出	1,800	@150千円×12月
		会議費支出	120	@10千円×12月
		業務委託費支出	153,105	
		検査委託費	25,013	@320円×78,165人(外来61,740人+入院16,425人)
		委託費	128,092	給食業務委託費 20,508千円 寝具等委託費 4,000千円 医事会計業務委託費 35,149千円 清掃業務委託費 8,035千円 宿日直・保安管理業務委託費 41,853千円 エレベーター設備外保守点検費計4件 5,306千円 設備運転委託費 4,657千円 滅菌業務委託費 940千円 塵芥処理外環境委託費計7件 4,610千円 その他委託費 3,034千円
		手数料支出	120	@10千円×12月
		保険料支出	1,518	医師賠償 1,018千円 備品保険料 500千円
		賃借料支出	6,819	医療機器・OA機器 外 リース料
		租税公課支出	400	消費税 200千円 印紙税 200千円
		保守料支出	11,683	CT保守料 5,508千円 その他保守料 6,175千円
		諸会費支出	641	医師会費 外
		その他の支出	655	
		雑支出	655	
		利用者負担軽減額	69,167	
		診療費減免額	69,167	
		その他の支出	0	
利用者等外給食費支出	0			
事業活動支出計(2)	1,357,870			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		38,535		
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0		
	支出			
施設整備等支出計(5)	0			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0		
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	0		
	積立資産支出	38,535		
	退職給付引当資産支出	25,936		
	備品等購入積立資産支出	12,599		
その他の活動支出計(8)	38,535			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		▲ 38,535		
予備費支出(10)		0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0		